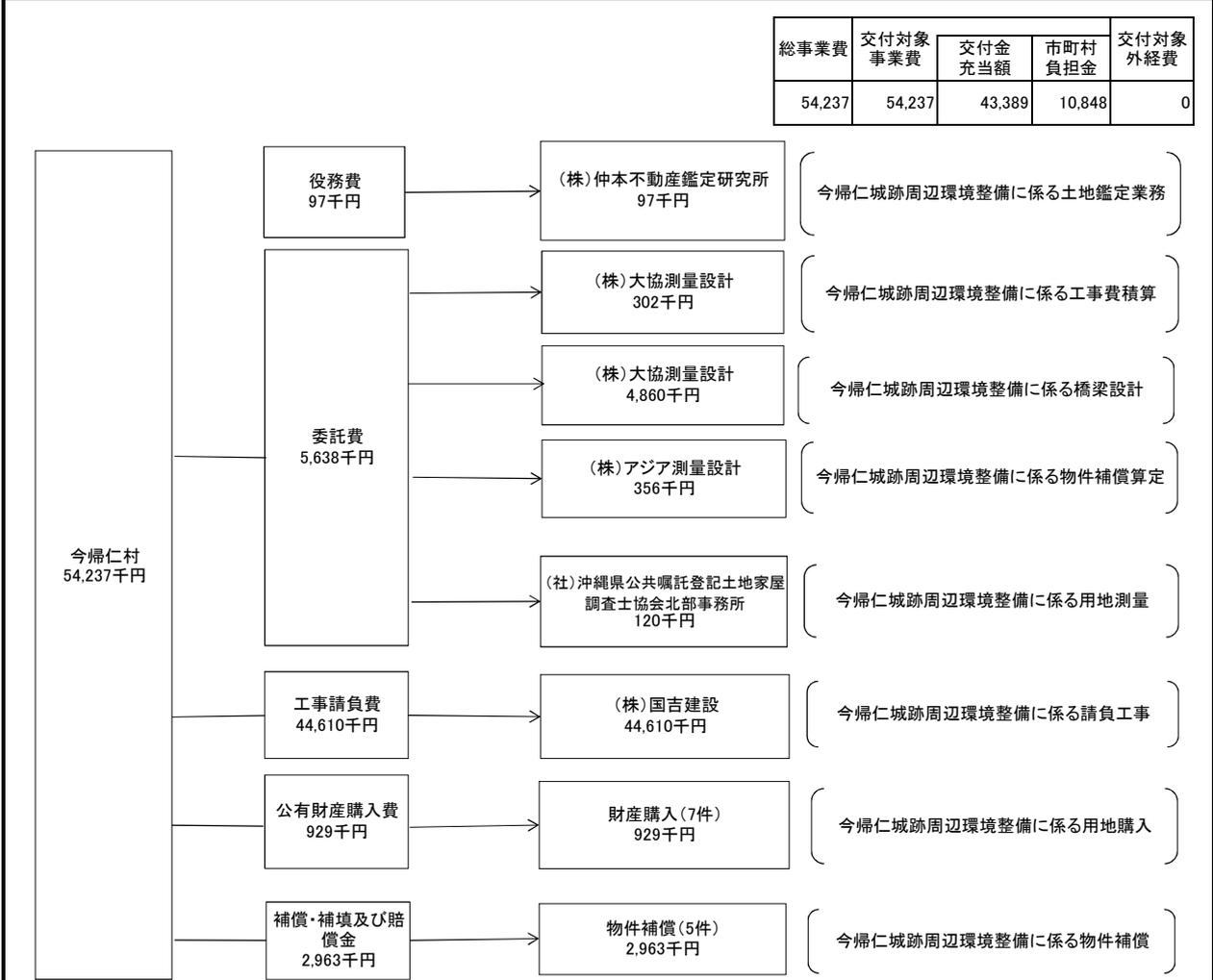


市町村名		今帰仁村					
平成27年度（繰越）沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	3-⑥	今帰仁城跡周辺環境整備事業		沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-3-(2)-ウ		
担当部署名	建設課	事業実施（予定）年度	平成24～30年度	沖縄振興基本方針該当箇所	観光客の受入体制の整備		
事業内容	今泊集落内を流れる普通河川（今泊港川）の整備を図ることにより、河川敷きなどの空間の有効活用、治水の安全度を図るなど、河川全体の自然環境を最大に活かした河川再生は重要な施策である。今帰仁城跡を訪れる観光客又は海浜を訪れる観光客の安全・安心な河川を再生し観光基盤を強化する。						
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他（ ）						
予算額・執行額 【単位：千円】 （「交付金」＋「市町村負担」ベース）			25年度	25年度（繰越）	26年度	27年度	27年度（繰越）
	予算の状況	(a) 当初予算額	61,900		47,124	57,237	-
		(b) 予算現額	51,841		47,872	54,237	-
		(c) 増減額 (b-a)	▲ 10,059		748	▲ 3,000	-
		(d) 前年度繰越額	-	35,818	-	-	17,964
	A. 計 (b+d)		51,841	35,818	47,872	54,237	17,964
	B. 執行済額		16,023	35,719	47,872	36,273	17,964
	うち交付金充当額		12,818	28,576	38,297	29,018	14,371
	次年度繰越額		35,818	0	0	17,964	0
	執行率（％）(B/A)		30.9%	99.7%	100.0%	66.9%	100.0%
予算の状況の説明		・工事範囲の起点側において、家屋が隣接していたため、一部物件補償が必要となった。これに伴い、用地及び物件補償交渉に時間を要したことにより、工事工期に影響し繰越工事となった。 ・繰越した事業内容のうち工事費17,964千円をH28年度へ繰越し予算内で適切な執行が行えた。また、用地費についても実施でき、予算内で適正な執行が行えた。					
活動目標（指標）及び達成状況	H27活動目標（指標）		達成状況				
			24年度	25年度	26年度	27年度	
	・今泊港川（延長560m）の下流左岸部分（92m）の工事実施	目標	（ 実施設計・測量・調査設計の実施 ）	（ 12筆分筆測量 河川工事L=90m ）	（ 改修工事（左岸） L=90m ）	（ 左岸工事 L=92m ）	
		実績	実施設計・測量・調査設計の完成	13筆分筆測量 河川工事L=90m完成	改修工事（左岸） L=88mの完成	左岸工事 L=57mの完成	
	・橋梁設計業務の実施	目標	（ ）	（ ）	（ ）	（ 橋梁設計業務の実施 ）	
		実績				橋梁設計業務の実施	
達成状況説明		・河川延長560mのうち河川整備工事（左岸L=57m）の工事を実施した。当初計画の92mできなかった理由は、工事範囲に隣接している地権者が病弱であったことから、地盤改良時に発生する振動について、親戚から苦情があり、振動の軽減を図る工法に変更を行ったことから、工事単価等の増になった。また、当初予想されていた重機の作業範囲よりも、実施の際は、予想以上に作業範囲を使用することが判明したことから、伐採範囲及び工事費の増となった。以上のことから当初目標の92mの延長を予定していた延長を満たすことができなかった。					
成果目標（指標）及び進捗状況	H27成果目標（指標）		基準値	24年度	25年度	26年度	27年度
	・全体計画における16%整備 累積整備率48.5% ・今帰仁城跡付近を流れる今泊港川を整備することで、河川敷きなどの空間を有効利用、治水安全度の向上が図られることはもとより、観光客の安全・安心な観光基盤を構築することができる。	目標	（ ）	（ 実施設計・測量・調査設計の実施 ）	（ 治水安全度の向上 L=90m工事の実施 ）	（ ・河川敷きなどの空間を有効利用、治水安全度の向上 ・観光客の安全・安心な観光基盤構築 ・改修工事（左岸） L=90m ）	（ ・全体計画における16%整備 累積整備率 48.5% ）
		実績		実施設計・測量・調査設計の完成	治水安全度の向上が図られた L=90m工事の完成	・河川敷きなどの空間を有効利用、治水安全度の向上が図られた。 ・観光客の安全・安心な観光基盤構築が図られた。 ・改修工事（左岸） L=88mの完成	・全体計画における9.2%整備 累積整備率 41.9%
	・橋梁設計書の完成	目標	（ ）	（ ）	（ ）	（ ）	（ 橋梁設計書の完成 ）
		実績					橋梁設計書の完成
	進捗状況説明		・工事範囲の起点側において、家屋が隣接していたため、一部物件補償が必要となった。これに伴い、用地及び物件補償交渉に時間を要したことにより、工事工期に影響し繰越工事となった。 ・河川延長560mのうち河川整備工事（左岸L=57m）の工事を実施した。累積整備率 41.9%となっている。 ・今帰仁村全体における事業費の配分において、他事業メニューを優先的に進めていることから、本工事の全体計画における目標については、未達成の状況になっている。				

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	<p>・本工事は、大型重機による地盤改良を行うことから、工事範囲など、周辺環境を十分把握する必要がある。また、治水の安全度を図るなど、河川全体の自然環境を最大に活かした河川再生は重要なため、今帰仁城跡を訪れる観光客又は海浜を訪れる観光客の安全・安心な河川を再生し観光基盤を強化する必要がある。</p>	<p>・用地、物件補償の交渉に時間を要したことで、繰越した原因であることから、今後は、用地及び物件補償の交渉を早期着手し、問題解決方法を重点的に行う必要がある。また、事業費の減も含め、成果目標が達成できなかったため今後は、工事発注の早期執行を目指し、成果目標を達成できるように、改修工事を推進する必要がある。</p>

今後の取り組み方針
<p>・今後は、年度計画工程表を作成し、用地交渉及び工事発注に向け、早期に取り組み事業実施を行う。また、四半期ごとに進捗状況の評価し、現場の状況をよく把握して、河川敷の空間を有効活用し、治水安全度の向上を図るとともに、隣接住民への工事説明を早い段階に取り組み、改善点が出た場合は早期に改善策の検討を行い、事業執行の推進を図る。</p>

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)



資金の流れ、費目・用途の点検評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	<p>○委託業者及び工事業者に関しては、指名競争入札方式で選定し、適切に執行した。</p> <p>○予算規模については、予算内で工事発注することができたことから、適正規模だと考える。</p> <p>○費目・用途については、精算段階で検査を実施しており、目的に即し、必要なものであったと判断した。</p>
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名 今帰仁村

平成27年度(繰越)沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】

Table with 4 columns: 事業番号・事業名 (3-⑧ 今帰仁村総合運動公園施設機能強化事業), 沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所, 第3章-2-(1)-イ, 担当部課名 (教育委員会 社会教育課), 事業実施(予定)年度 (平成24~29年度), 沖縄振興基本方針該当箇所, III-1-(1)

事業内容 「体験滞在観光を促進する」「着地型・周遊観光を実施する」を基本方針として、観光振興を強化する。観光客の受入れ体制を整えるため、村内の観光スポットの美化・整備を強化し、住民への景観形成への意識を高め、今帰仁村の観光地としての知名度を上げ、集客につなげる。既存の施設を活用し、スポーツによる交流など今帰仁村を目的地とするよう観光の通年化を図る。

実施方法 ■直接実施 ■委託 □補助 □負担 □その他 ()

Table with 7 columns: 24年度, 25年度, 26年度, 27年度, 27年度(繰越). Rows include: 予算額・執行額 (単位:千円), 予算の状況 (a)当初予算額, (b)予算現額, (c)増減額, (d)前年度繰越額, A.計(b+d), B.執行済額, うち交付金充当額, 次年度繰越額, 執行率(%) (B/A), 予算の状況の説明

Table with 5 columns: H27活動目標(指標), 達成状況 (24年度, 25年度, 26年度, 27年度). Rows include: 活動目標(指標)及び達成状況 (村営プール改修調査設計委託, 村営プール改修工事の完了), 達成状況説明

Table with 7 columns: 基準値(23年度), 24年度, 25年度, 26年度, 27年度. Rows include: 成果目標(指標)及び進捗状況 (村営プール改修調査設計, 村営プール改修工事の完了), 進捗状況説明

	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
取組の検証	<ul style="list-style-type: none"> ・村営プールの屋根材、水槽、ボイラー設備及びスロープ等の改修により、室温、水温、水質の適切な管理と、水槽への入水が容易に出来るようになり、利用者に快適な施設となった。施設改修を踏まえ、施設環境が改善されたプールの利用者を増やすための利用促進の周知が課題である。 ・管理倉庫は、適切な備品管理ができ、大会及び合宿等での運営及び休憩施設として利用されている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・プールは、平成28年6月1日供用開始され村内外に利用を周知しているが、今後も合宿等の誘致活動を積極的に行う必要がある。

今後の取り組み方針

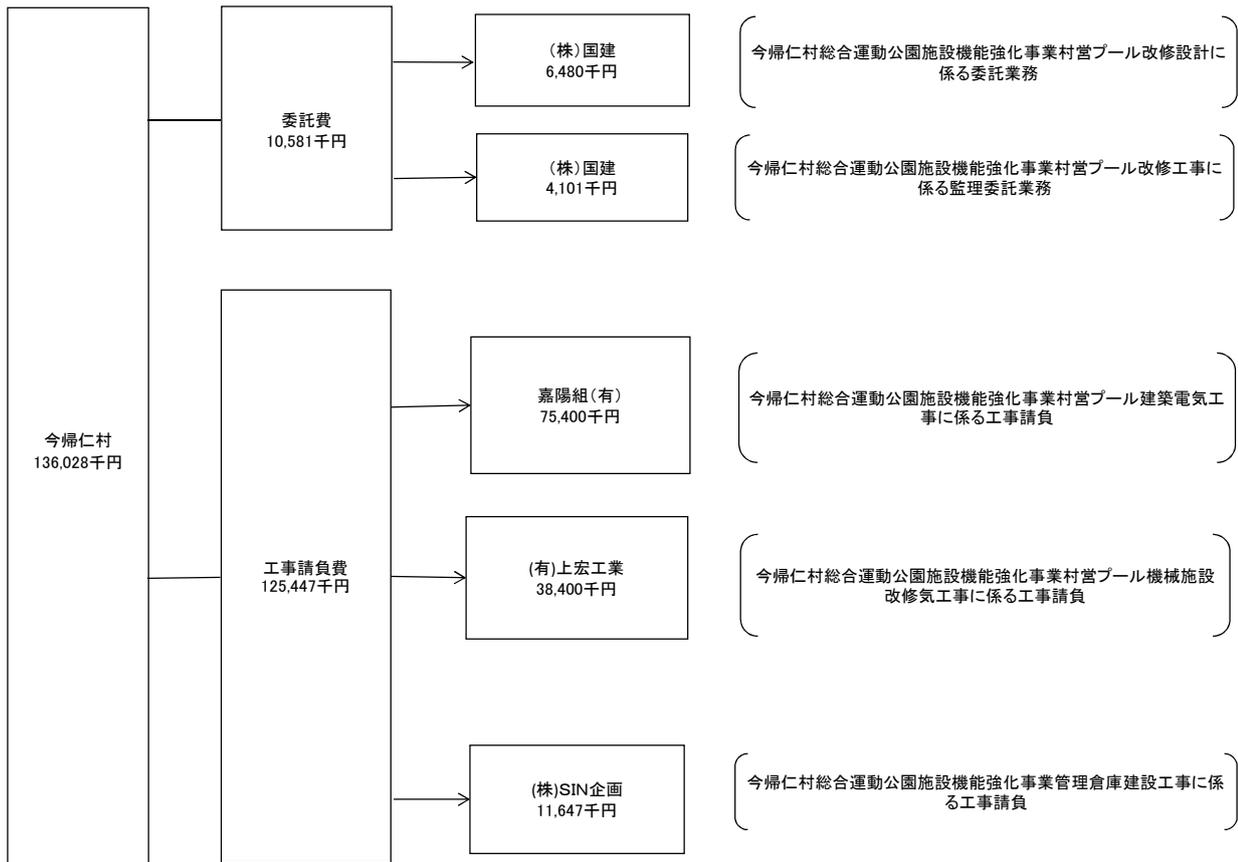
・プール施設の誘客については、水泳競技を始め、他の競技のプールを利用したトレーニングやコンディショニングの有効性を周知することで利活用に繋げる。

・運動公園の利用頻度が向上する施設機能強化事業として、村外利用者の合宿等の受入数及びリピーターの増加を当事業の主眼として捉えることで、合宿・キャンプを目的とした利用者の技術の向上や健康増進を定着させることで、施設利用による交流人口を増加させ観光産業に付随した地域活性化となるよう、学童スポーツクラブや中高の部活動及び大学サークル等の各種団体へ整備された施設を宣伝することで合宿・キャンプ誘致の活動を推進する。

・H28年度への繰越工事になった事については、供用が遅れたことで事業効果の発現が遅れた要因であるので、今後は適切な事業執行により事業効果が遅延しないようにする。

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費
136,028	136,028	108,800	27,228	0



資金の流れ、費目・用途の点検評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○委託・工事事業者は指名競争入札方式で選定しており、適切に執行した。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	○予算規模については、36,028千円の増額を行ったが適正規模である。
	—	受益者との負担関係は妥当であるか。	○費目・用途については、業務完成検査及び工事竣工検査を実施しており、目的に即し必要なものであると判断した。
	○	費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名	今帰仁村
------	------

平成27年度（繰越）年度沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】

事業番号・事業名	3-⑩	今帰仁城跡機能強化整備事業	沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-3-(2)-ウ
担当部署名	社会教育課	事業実施(予定)年度	平成27年度	観光客の受入態勢の整備
			沖縄振興基本方針該当箇所	Ⅲ-1-(1)

事業内容
 ・今帰仁城跡は平成12年に世界遺産登録され、また、平成19年度から今帰仁グスク桜まつりが始まったことにより、観覧者が大幅に増加した。そのような中で、トイレ等の利用が増加し、現在のトイレ及び浄化槽の規模では処理が追いつかない状況が続いている。よって、トイレ及び浄化槽を新設整備し観光客受入態勢の強化を図る。

実施方法
直接実施 委託 補助 負担 その他（ ）

予算額・執行額 【単位：千円】 （「交付金」＋「市町村負担」ベース）	予算の状況	27年度	27年度（繰越）	28年度	29年度	30年度
		(a) 当初予算額	38,210			
(b) 予算現額	53,154					
(c) 増減額 (b-a)	14,944					
(d) 前年度繰越額	—		36,090			
A. 計 (b+d)	53,154		36,090			
B. 執行済額	17,064		36,090			
うち交付金充当額	13,651		28,872			
次年度繰越額	36,090					
執行率 (%) (B/A)	32.1%		100.0%			
予算の状況の説明		予算の範囲内で適正な執行ができたと考えている。平成28年度に繰り越すこととなった理由は、浄化槽設置箇所は埋蔵文化財の発掘調査が必要な場所であり、発掘によって遺構が確認されたため、調査に不測の日数を要したことから工期の見直しが必要となり、年度内の完了が困難な状況となったためである。平成27年度において14,944千円増額した理由については、当初トイレの外壁・内壁をコンクリート打ちっ放し仕上げを予定していたが、今帰仁城跡の景観を勘案し検討した結果、外壁を石張りに、内壁をタイル張りなどに変更することとなったためである。				

活動目標(指標)及び達成状況	H27活動目標(指標)	達成状況			
		27年度	28年度	29年度	30年度
・トイレ及び浄化槽の設計委託	目標	(トイレ及び浄化槽の設計委託)	()	()	()
	実績	トイレ及び浄化槽の設計委託の実施			
・トイレ及び浄化槽の新設工事	目標	(トイレ及び浄化槽の新設工事)	()	()	()
	実績	トイレ及び浄化槽の新設工事実施			
達成状況説明	トイレの内訳として男子トイレは小便器を2基、大便器を1基設置し、女子トイレは6基の便器を設置した。浄化槽の規模は240人槽の浄化槽を設置した。トイレ及び浄化槽を新設することで繁忙期のトイレ待ちを軽減することができた。また、浄化槽から出る悪臭も改善することができた。				

成果目標(指標)及び進捗状況	H27成果目標(指標)		基準値	27年度	28年度	29年度	目標値(年度)
			目標	()	(トイレ及び浄化槽の設計書の完成 ・トイレ及び浄化槽の新設工事の完了)	()	()
実績	()	トイレ及び浄化槽の設計書の完成 ・トイレ及び浄化槽の新設工事の完了					
目標	()	(トイレ及び浄化槽を整備することで、今帰仁城跡における観光客の受入体制の強化及びイメージアップを図ることができる。)	()	()	()	()	
実績	()	トイレ及び浄化槽を整備することで、今帰仁城跡における観光客の受入体制の強化及びイメージアップを図ることができた。					

進捗状況説明
 工事の工期を延長し、トイレ及び浄化槽を新設することができた。繁忙期のトイレの待ち時間を軽減することができた。また、浄化槽からの悪臭も改善することができた。

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	今帰仁城跡の年間来場者は平成28年度に初めて30万人を超えた。今回設置した浄化槽は年間30万人来場した場合でも十分対応できる規模の浄化槽だが、将来、今の浄化槽で対応しきれないほどの来場者が来る可能性がある。そのためには浄化槽の管理を徹底し、性能を維持することや必要に応じて汲み取りをして対応をする必要がある。	新設したトイレをしっかりと活用するために案内図等を設置し、観光客にトイレの場所をわかりやすくしていく必要がある。
今後の取り組み方針		
発掘調査期間の延長に伴い28年度に事業を繰り越すこととなったが、工期内に完成することができた。トイレ及び浄化槽を新設することで繁忙期のトイレの待ち時間を軽減することができた。今後は案内図等を設置し、本事業で新設したトイレをしっかりと活用することで、観光客受入態勢を強化し、今帰仁城跡のイメージアップさせることで観光客等の増加及び本村の経済向上の効果の向上に繋げる。案内図等に関しては平成30年度に設置できるよう検討中である。		

資金の流れ (資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)														
			<table border="1"> <thead> <tr> <th>総事業費</th> <th>交付対象事業費</th> <th>交付金充当額</th> <th>市町村負担金</th> <th>交付対象外経費</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>53,154</td> <td>53,154</td> <td>42,523</td> <td>10,631</td> <td>0</td> </tr> </tbody> </table>	総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費	53,154	53,154	42,523	10,631	0	
総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費										
53,154	53,154	42,523	10,631	0										
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 150px; margin-bottom: 10px;">今帰仁村 53,154千円</div> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 100px; text-align: center;">委託料 5,200千円</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 100px; text-align: center;">工事請負費 47,954千円</div> </div>	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 150px; margin-bottom: 10px;">(有)みき建築設計 3,456千円</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 150px; margin-bottom: 10px;">(有)みき建築設計 1,744千円</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 150px; margin-bottom: 10px;">(株)国吉建設 47,954千円</div>	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 150px; margin-bottom: 10px;">() 今帰仁城跡トイレ新設工事に係る設計委託業務</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 150px; margin-bottom: 10px;">() 今帰仁城跡トイレ新設工事に係る監理委託業務</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 150px; margin-bottom: 10px;">() 今帰仁城跡トイレに新設工事に係る請負工事</div>												
資金の 使途の 流れ、 点検 評価	評価	点検項目	評価に関する説明											
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○委託業者は、指名競争入札方式で選定しており、妥当であったと考える。											
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	○予算規模については、不用額はなく適正な規模であったと考える。											
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。												
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	○費目・使途については事業目的達成に必要な設計・監理・工事のみであり、適正であると考え。											